

1 1. 「大谷石文化」の日本遺産認定

(1) 「大谷石文化」が日本遺産に認定されたことに関する認知度

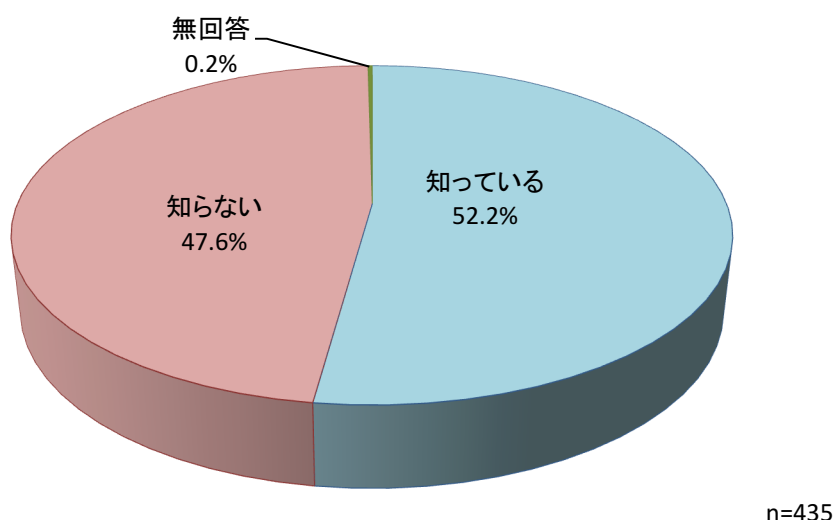
平成 30 年 5 月に、本市の暮らしに息づく「大谷石文化」のストーリーが日本遺産に認定されました。日本遺産は、日本各地の風習や伝統に根付いたストーリーを文化庁が認定する制度です。

本市には、大谷石採掘や彫刻細工など、大谷石を「ほる」文化が古代から受け継がれるとともに、カトリック松が峰教会等の建造物や石蔵、石塀など、暮らしやまちづくりの中で大谷石を变幻自在に使いこなしてきた独自の「大谷石文化」が息づいています。

◇ 「知っている」が5割強

問 4 4 「大谷石文化」が日本遺産に認定されたことを知っていますか。		(○は1つ)
		n=435
1	知っている	52.2%
2	知らない	47.6%
3	(無回答)	0.2%

<図IV-11-1>全体



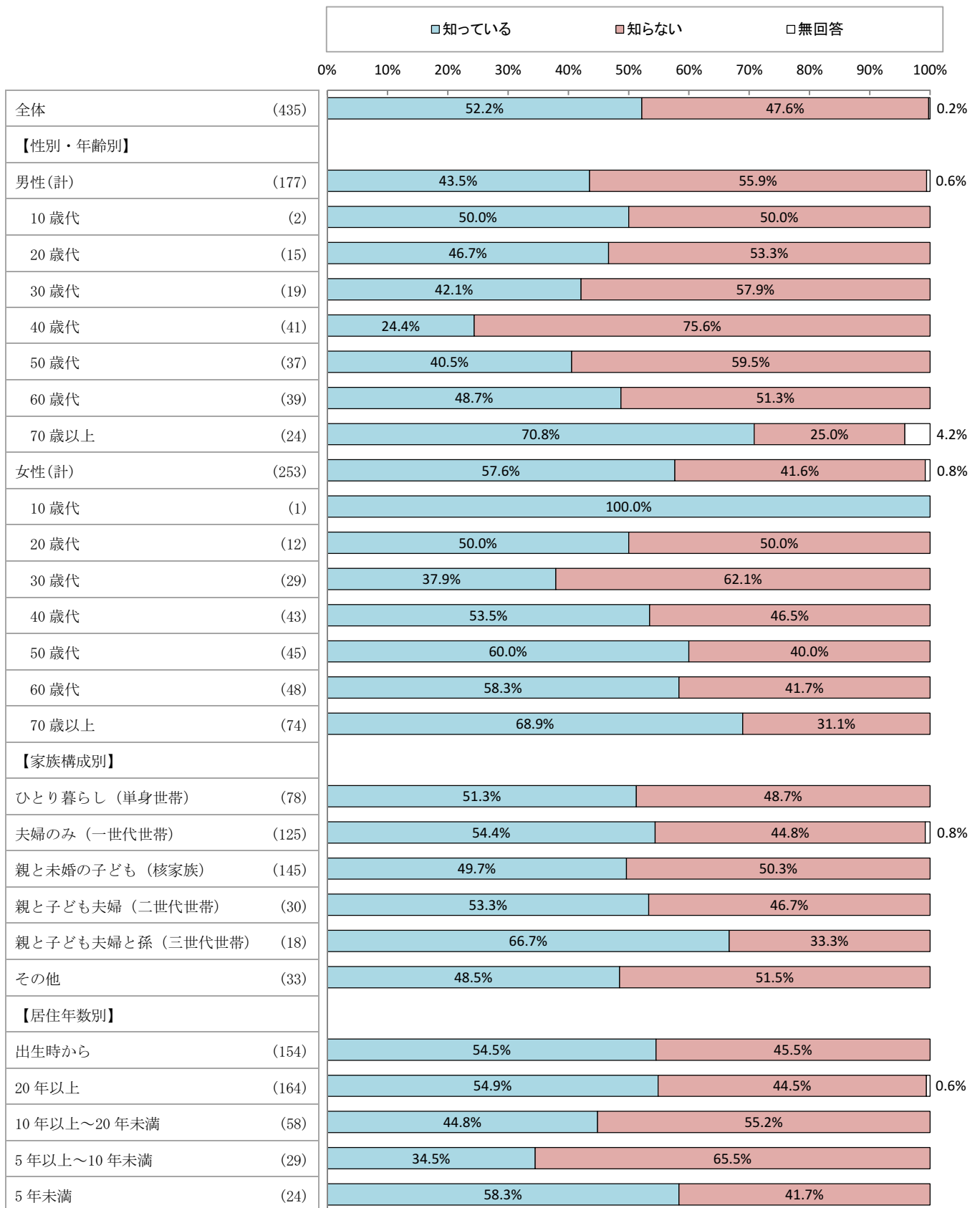
「大谷石文化」が日本遺産に認定されたことに関する認知度については、「知っている」が 52.2%、一方、「知らない」は 47.6%であった。(図IV-11-1)

性別・年齢別でみると、「知っている」は<女性/10歳代>が 100.0%で最も高く、次いで<男性/70歳以上>が 70.8%であった。一方、「知らない」は<男性/40歳代>が 75.6%で最も高く、次いで<女性/30歳代>が 62.1%であった。(図IV-11-2)

家族構成別でみると、「知っている」は<親と子ども夫婦と孫(三世帯世帯)>が 66.7%で最も高かった。一方、「知らない」は<その他>を除くと、<親と未婚の子ども(核家族)>が 50.3%で最も高かった。(図IV-11-2)

居住年数別でみると、「知っている」は<5年未満>が 58.3%で最も高かった。一方、「知らない」は<5年以上~10年未満>が 65.5%で最も高かった。(図IV-11-2)

<図IV-11-2>性別・年齢別／家族構成別／居住年数別

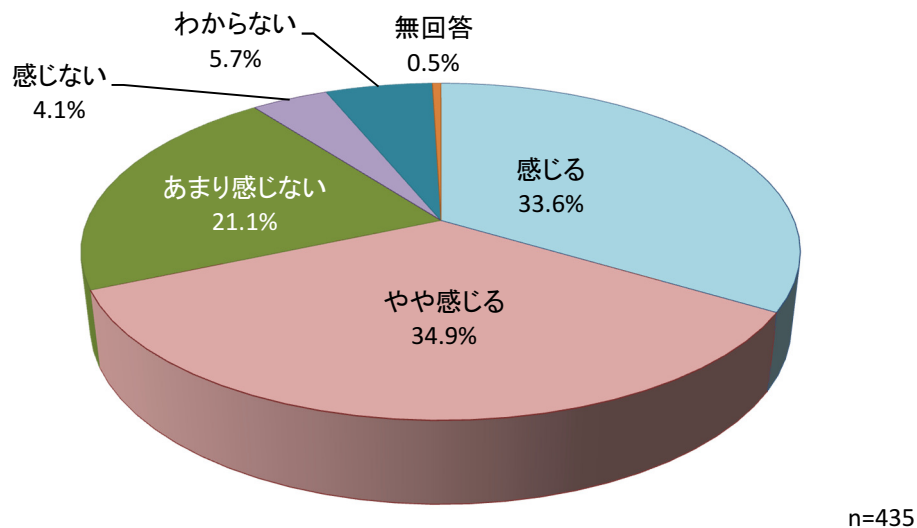


(2) 「大谷石文化」を誇りに感じるか

◇ 「感じる」と「やや感じる」を合わせた【感じる(計)】が約7割

問45 宇都宮市の暮らしに息づいている「大谷石文化」を誇りに感じますか。(○は1つ)		n=435
1	感じる	33.6%
2	やや感じる	34.9%
3	あまり感じない	21.1%
4	感じない	4.1%
5	わからない	5.7%
	(無回答)	0.5%

<図IV-11-3>全体



「大谷石文化」を誇りに感じるかについては、「感じる」が33.6%、「やや感じる」が34.9%で、これらを合わせた【感じる(計)】が68.5%であった。一方、「感じない」4.1%、「あまり感じない」21.1%で、これらを合わせた【感じない(計)】は25.2%であった。(図IV-11-3)

性別・年齢別でみると、【感じる(計)】は<男性/30歳代>47.4%を除く性・年代が約5割を超えている。一方、【感じない(計)】は<男性/30歳代>42.1%、<男性/40歳代>41.5%を除く性・年代では3割半ば以下であった。(図IV-11-4)

家族構成別でみると、【感じる(計)】は<その他>を除くと、<夫婦のみ(一世代世帯)>で71.2%が最も高かった。一方、【感じない(計)】は<親と子ども夫婦(二世帯世帯)>で36.7%が最も高かった。(図IV-11-4)

居住年数別でみると、【感じる(計)】は<出生時から>で72.7%が最も高かった。一方、【感じない(計)】は<5年以上~10年未満>で44.8%が最も高かった。(図IV-11-4)

<図IV-11-4>性別・年齢別／家族構成別／居住年数別

